

No.	011	—	1014	事務事業名	ごみ収集事業										公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	環境保全課	係 名	環境対策係	電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度		～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	3 ごみ減量・リサイクルシステムの構築				
	事業の目的	廃棄物の排出抑制及び再生利用を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の工事を図るため。				根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	事業の手段	家庭から排出された廃棄物を収集、適切に処分し、リサイクル率の向上を図ります。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		リサイクル率		資源化量/処理量×100		%		目標	13	13	13	12		
								実績	24	24				
		市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量		本市一般廃棄物処理基本計画において設定しています。		g		目標	530	520	510	470		
								実績	551	527				
DO	活動内容	①	家庭から排出される廃棄物の収集を行います。				④							
		②	収集した廃棄物を適正な方法で処分します。				⑤							
		③	リサイクルの方法を広報し、分別排出について意識向上を図ります。											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	14,068 千円		15,267 千円		13,547 千円							
		一般財源	401,882 千円		405,419 千円		463,464 千円							
		計(A)	415,950 千円		420,686 千円		477,011 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.521 人	3,301 千円	0.521 人	3,354 千円	0.521 人	3,354 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		419,251 千円		424,040 千円		480,365 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	令和6年度途中から高齢者等のごみ出し困難者に対する支援制度を開始しました。また松山ブロックでのごみ処理広域化に併せ、新たにプラスチック使用製品廃棄物の再商品化等への取り組みが必要です。												
	有効性	現在の分別形態において、資源ごみのリサイクルが確実に行われています。また、新たに取り組むプラスチック使用製品廃棄物の分別について、広報誌等で周知する必要があります。												
	達成度	ごみの総排出量は減量していますが、リサイクル率については、粗大ごみの排出量増加や、民間における資源ごみ回収の取組により減少傾向となっています。												
	効率性	家庭から排出される廃棄物の収集から運搬、処分、再資源化について、適正な処理がなされています。												
	当面の課題	令和9年度からの製品プラスチックの分別収集について、市民への周知が必要です。また、現在取り組んでいるごみ出しサポート制度での粗大ごみの対応。市内全域の粗大ごみの排出方法の検討が必要です。												
	改 革 計 画	食品ごみの減量、資源ごみの分別収集に関して啓発を行います。また、広域化関係市町と連携し、プラスチックごみへの対応を進めます。ごみ出し困難者に対する支援についても先進自治体の事例を参考に検討を行います。												
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項		食品ごみの減量、資源ごみの分別収集の徹底等様々な課題がある中で、特にプラスチックごみへの対応について、広域化関係市町と情報共有しながら進めていく必要があると考えています。											

No.	011	—	1026	事務事業名	環境検査・測定事業										公的関与	4
P L A N	課 名	環境保全課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	非該当		事業期間	年度		～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	2 自然環境の保全					
	事業の目的	環境負荷の発生や汚染等状況を早期に把握し、地域環境の保全を図るため。						根拠法令等	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法等							
	事業の手段	河川の水質調査、基幹道路周辺の騒音測定、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を継続的に実施し、現況を把握することにより環境保全を図ります。また、個別の公害等の事案について、現地を調査し対策を行います。						掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		河川の水質検査場所		水質の経年変化の把握				箇所	目標	32	32	32	32			
									実績	32	32					
		騒音の測定場所		基幹道路周辺の騒音状況の把握				箇所	目標	3	3	3	3			
									実績	3	3					
六価クロム観測井戸		モニタリング調査による現状の把握				箇所	目標	6	6	6	6					
							実績	6	6							
D O	活動内容	①	市内河川の水質検査の実施					④	個別の公害苦情対応							
		②	基幹道路周辺の騒音測定及び騒音状況の把握					⑤								
		③	六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	2,308 千円		2,504 千円		3,343 千円									
	計(A)	2,308 千円		2,504 千円		3,343 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.076 人	482 千円	0.076 人	489 千円	0.076 人	489 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		2,790 千円		2,993 千円		3,832 千円										
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	環境保全を図るため各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生状況を早期に把握し、対処していく必要があります。														
	有効性	環境負荷を早期に把握し、対応できます。														
	達成度	計画的・継続的に各項目の検査・測定を実施しており、目標を達成しています。														
	効率性	経年の状況を把握し、公害等の拡大を未然に防ぐことができます。														
	当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、問題がある事案については早期に対処していく必要があります。														
	改 革 画	今後も計画的・継続的に検査及び測定を実施します。														
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
	二次評価での指摘事項		市内の環境保全を図るため、今後も環境検査及び測定を継続していく必要があると考えています。													

No.	011	—	1031	事務事業名	ごみ集積場設置事業補助金										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	環境保全課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進		主要施策	3 ごみ減量・リサイクルシステムの構築					
	事業の目的	地域の集積場施設整備を支援し、地区の経済的負担を軽減するとともに、施設の利便性向上を図るため。						根拠法令等	東温市燃やさないごみ粗大ごみ置場施設整備費等補助金交付要綱					
	事業の手段	策が実施する燃やさないごみ又は粗大ごみ置場施設の整備事業に対して、交付要綱に基づき予算の範囲内において補助金を交付します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		施設整備自治区数 (整備箇所数)		施設整備要望自治区数		区	目標	2	2	2	2			
							実績	2	2					
							目標							
							実績							
					目標									
DO	活動内容	①	燃やさないごみ粗大ごみ置場施設の新設に係る補助					④						
		②	既存の燃やさないごみ粗大ごみ置場施設の修繕に係る補助					⑤						
		③												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	1,716 千円		774 千円		1,000 千円							
		計 (A)	1,716 千円		774 千円		1,000 千円							
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.051 人	323 千円	0.051 人	328 千円	0.051 人	328 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費 (A + B)		2,039 千円		1,102 千円		1,328 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	ごみ集積施設の整備は市民の生活に直結するものとして、毎年複数の自治区より要望があることから、継続して実施することが必要です。												
	有効性	ごみ集積場を新設、改修する際の費用を一部補助することにより、地域住民の負担軽減になります。												
	達成度	前年度に各地区からの要望を取りまとめ、補助対象となる箇所全てに補助しています。												
	効率性	補助金交付事務において、施設整備自体の事業主体が自治区であることから、申請事務や施工等に関して自治区の協力が得られており、適正に事業が実施できています。												
	当面の課題	既存施設の老朽化や不法投棄対策等に伴い、今後、施設整備に係る要望が増加することも想定される中で、地域のごみ収集環境の改善を図るため、限られた予算においてより効果的な成果をあげる必要があります。また、家電リサイクル品や地区外からの不法投棄対策のため、監視カメラの設置に対する補助の要望が増えているため、対応を検討する必要があります。												
	改 革 計 画	不法投棄の犯罪抑止、事件解決のため、監視カメラの設置は有効な方法と考えられますので、監視カメラ設置に対する補助要件の検討を行います。												
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	施設整備をすることで地域のごみ収集環境を改善するだけでなく、不法投棄の犯罪抑止や事件解決のため、監視カメラの設置の推進について検討する必要があると考えています。												

No.	011	—	1032	事務事業名	合併処理浄化槽設置事業補助金										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	環境保全課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度 ～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	4 上下水道等の整備			主要施策	6 下水道事業の健全運営			
	事業の目的	公共下水道や農業集落排水以外の区域において、単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を図り、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため。						根拠法令等						
	事業の手段	合併処理浄化槽の設置には多額の費用負担が発生するため、その費用に対して補助金の交付を行い、合併処理浄化槽設置の普及促進を図ります。						掲載計画	東温市一般廃棄物処理基本計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標	
		補助による合併処理浄化槽設置基数		設置基数				基		目標	50	50	50	50
										実績	24	20		
										目標				
										実績				

D O	活動内容	①	補助金制度の周知				④						
		②	補助金申請の審査・補助金の交付				⑤						
		③											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考				
		国・県支出金	5,323 千円		2,790 千円		9,801 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	6,910 千円		6,746 千円		13,779 千円						
		計(A)	12,233 千円		9,536 千円		23,580 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.304 人	1,926 千円	0.304 人	1,957 千円	0.304 人	1,957 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		14,159 千円		11,493 千円		25,537 千円							

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	公共用水域の保全を図るため、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換は不可欠であり、今後も継続して実施する必要があります。												
	有効性	合併処理浄化槽の普及啓発を行い、設置に係る経費の補助を行うことで合併処理浄化槽への転換が図られ、生活排水による水質汚濁の防止に資することができます。												
	達成度	新築、転換ともに申請件数は横ばいで、汚水処理未普及人口の解消に対して着実な成果があるものの、目標に対しては件数が少ない状態です。												
	効率性	補助金交付の申請件数は年間20件程度であるため書類の電子化等の必要性はありませんが、申請者が不利益を被ることがないよう迅速な処理を行います。												
	当面の課題	更なる汚水処理未普及人口の解消のためには単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換が必要となりますが、設置には多大な費用が必要であるため、設置者の負担が大きいです。												
	改 革 画	令和8年度末で汚水処理人口普及率約95%を達成できるよう、転換の必要性、補助事業の周知に努めます。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		合併処理浄化槽の設置について、広報やHP等を通じて継続して啓発活動を図っているところですが、現在の汚水処理人口普及率は約92%であり、目標に届いていない状況にあるので、今後更に転換の必要性、補助事業の周知に努めていく必要があると考えています。												

No.	011	—	1039	事務事業名	高齢者等ごみ出しサポート事業										公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	環境保全課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	令和 6 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進		主要施策	3 ごみ減量・リサイクルシステムの構築					
	事業の目的	高齢者等身体の不自由な市民の負担軽減のため。						根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	事業の手段	身体の不自由な高齢者宅を訪問し、ごみを回収します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		訪問件数				件		目標	—	20	30	40		
								実績	—	19				
								目標						
								実績						
						目標								
						実績								
D O	活動内容	①	市内介護事業者に対しアンケートを実施します。					④	モデル地区において社会実験を実施します。(令和6年8月～令和7年2月)					
		②	ケアマネージャーに対し事業の説明会を開催します。					⑤	対象者宅を訪問しごみを回収します。					
		③	実施要綱を作成します。											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		令和7年度から清掃施設管理運営費で計上					
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	0 千円		1,465 千円		0 千円							
		計(A)	0 千円		1,465 千円		0 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.089 人	573 千円	0.089 人	573 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		0 千円		2,038 千円		573 千円								
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	高齢者等ごみ出しが困難な方に対し、自宅までごみ回収に訪問するサービスについては以前から要望があり、県内でも実施している市町が増えていることから、必要性の高い事業です。												
	有効性	身体が不自由な方のごみ出しにかかる負担を軽減できています。												
	達成度	社会実験中は申込み件数が少なかったものの、現在は申込み件数が増えています。												
	効率性	民間委託した場合の見積りが高額であったため直営で行っていますが、今後申込み件数が増えた場合の対応を検討する必要があります。												
	当面の課題	今後申込件数が増えた場合、リサイクルセンターのみでの対応が困難となる可能性があります。												
	改 革 画	リサイクルセンターでの対応が困難となる事態を想定して、民間委託の方法を検討する必要があります。												
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	現在、直営で事業を実施していて、件数は36件と十分に対応できる件数ですが、今後も増えていくことが予想されるため、民間委託についても調査していく必要があると考えています。												

No.	011	—	2010	事務事業名	CO2排出権活用事業										公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	環境保全課	係 名	新エネ推進係	電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 23 年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	1 「環境先進地・東温」づくりの総合的推進				
	事業の目的	子どもたちへの食育・環境教育を充実させ「環のまちづくり」を推進しロハスタウンの構築を目指すため。				根拠法令等								
	事業の手段	J-VER売却収益を「ふるさと基金」に積立し、地場産給食・食育推進事業を実施します。				掲載計画	第2次東温市環境基本計画、東温市スマートエコタウン計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		国内クレジットを活用したカーボン・オフセット		国内クレジットを活用したカーボン・オフセットの数量		t-CO2		目標	5	5	5	5		
								実績	7	8				
		J-VERを活用したカーボン・オフセット		J-VERを活用したカーボン・オフセットの数量		t-CO2		目標	50	50	50	50		
								実績	40	52				
J-VERを活用したカーボン・オフセット		J-VERを活用した地場産給食の展開のためのクレジット売却益		千円		目標	100	100	100	100				
						実績	375	121						
DO	活動内容	①	市主催イベント等のカーボン・オフセットの実施			④								
		②				⑤								
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	1,309 千円		1,023 千円		571 千円							
		計 (A)	1,309 千円		1,023 千円		571 千円							
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.118 人	748 千円	0.123 人	792 千円	0.123 人	792 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費 (A + B)		2,057 千円		1,815 千円		1,363 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	新エネ推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	市・市民・事業所が連携し、自らが行動することでCO2の排出削減を進める取組です。予算規模に関わらず、継続的に実施していく必要があります。												
	有効性	市民には廃食用油等の回収も定着しており、市でもBDFを利用するなど資源循環モデルとして構築されています。												
	達成度	オフセット・クレジット(J-VER)は企業に売却し「ふるさと基金」に積立し、食育推進事業等に充てることとしていますが、年により、売却数のばらつきが大きくなっております。												
	効率性	「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」及び「学校給食センターBDF利用プロジェクト」により生み出されたクレジットについて、市内外の事業所等に、よりわかりやすく周知を行い、クレジット売却促進に繋げていく必要があります。												
	当面の課題	年により、J-VERの売却数のばらつきが大きいことです。												
	改 革 計 画	J-VERに興味を持ち購入してくれる企業を探すなど、販売促進に力を入れる必要があります。												
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	東温おせっかい型カーボン・オフセットを行ったイベント場内において、カーボン・オフセット制度についてアナウンスを行ったり、親子で考えようCOOL CHOICE in とべ動物園の動画を小中学生への環境教育e-programの動画とともに東温市デコホームページへ掲載し、PRを行っています。 J-VERの販売促進とともにJクレジットの取得について積極的に情報収集を行い、取り組んでいく必要があると考えています。												

No.	011	—	2011	事務事業名	美しいまちづくり推進事業										公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	環境保全課		係 名	新エネ推進係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.lg.jp			
	事業区分	内部管理事務・その他		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 14 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進		主要施策	1 「環境先進地・東温」づくりの総合的推進					
	事業の目的	市民自らが地域美化に参加し、地域の財産としての河川や景観を保全する取組を行うため。					根拠法令等							
	事業の手段	ボランティア支援制度の運用や各種啓発を行います。					掲載計画	第2次東温市環境基本計画、東温市スマートエコタウン計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標		
		緑のカーテンコンテスト応募件数		応募件数			件		目標	10	10	10	10	
									実績	6	8			
		美しいまちづくりサポーター制度登録団体数		登録団体数			団体		目標	10	10	10	10	
									実績	8	8			
							目標							
							実績							
D O	活動内容	①	美しいまちづくりサポーター制度によるボランティア清掃支援				④							
		②	市有施設等による緑のカーテン育成				⑤							
		③	緑のカーテンコンテストの実施											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	279 千円		316 千円		401 千円							
	計(A)	279 千円		316 千円		401 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.476 人	3,016 千円	0.478 人	3,077 千円	0.478 人	3,077 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		3,295 千円		3,393 千円		3,478 千円								
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	新エネ推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	市の景観を維持することは行政が行う取組のみでは難しく、市民の環境美化への意識向上、取組の推進を図ることも重要であることから、当事業は必要であると考えます。												
	有効性	美しいまちづくりサポーター制度については、年々団体数が減少しているため、団体数を増やすために広報やホームページでの制度の周知を図る必要があると考えます。												
	達成度	美しいまちづくりサポーター制度の団体数は年々減少傾向にあるものの活動を実施する団体数は微増していることから現状維持はできていると考えます。												
	効率性	各施設での緑のカーテン育成のための苗配布について、より効果的な活動とするため、各施設での生育状況の確認を行う必要があると考えます。												
	当面の課題	美しいまちづくりサポーター制度の活動団体の高齢化が進み、活動を辞退するケースが増えており、また、登録はしているものの、制度を活用していない団体がいることです。団体の活動状況の把握や、制度の周知、活用を推進する必要があります。												
	改 革 画	美しいまちづくりサポーター制度を活性化させるため、広報やホームページなど様々な手段を活用し周知を行い、認知度の向上を図ります。												
	二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	高齢化等によって美しいまちづくりサポーター制度の活動団体数が減少傾向にあるため、今後は制度の概要や活動状況について広く情報発信する必要があると考えます。												